

令和4年度 横越中学校経営方針

1 教育目標

『進んで学び 協力し合い たくましく生きる生徒』

2 目指す横越の子どもたちの姿

- (1) 自ら学び, 自ら考え, 積極的に行動する生徒 (主体性)
- (2) 相手の立場で考え, 協働する生徒 (協働性)
- (3) 目標に向かって粘り強く努力する生徒 (たくましさ)

3 令和4年度の学校経営の重点

(1) 学びに向かう生徒の育成

単元・題材毎や1時間の学習過程と学習形態, 学習評価の工夫により, 学びに向かう生徒の育成を図る。また, ICT機器等も活用しながら, 学習課題とまとめのある横越中学校UDLスタンダードを取り入れた, 合理的配慮はもちろん, 誰に対しても細やかで丁寧かつ分かりやすい個に応じた学習指導によって, 生徒のより一層の学力向上を図る。

さらに, 放課後や昼休み等に誰でも自由に使用できる自主学習スペースの活用や計画的な5教科の家庭学習課題提示等の取組により, 基礎学力向上と主体的な家庭学習習慣の定着に取り組む。

(2) 特別活動の推進

学級活動, 生徒会活動, 生徒会行事, 部活動において, 自主的・実践的な態度を育成するために, 生徒自らがPDCAサイクルを回し, 生徒の願いや意見を大切に, 生徒発の発想を活かし, 話し合いにより練り上げ, 精度の高いものとし, 成功体験を積み上げていくことで, 自主的・実践的な態度を育成するとともに, 自己有用感と自己肯定感を高めていく。

(3) キャリア教育の推進

生徒の活動のモデルとなるのは, 身近な大人(家族, 教職員)が大半である。身近な大人が憧れのモデルとなるよう努力するのはもちろんのこと, 高校進学や大学進学のその先にある光景を生徒に見せたり, 体験させたりすることが大切である。現在, 高校進学率は, ほぼ100%と全国トップレベルであり, 大学等進学率はほぼ50%という状況から, 高校や大学進学のその先やモデルを見せ, イメージを膨らませ, 目標をもたせ, 日々の生活におけるモチベーションを高めることが必要である。

総合的な学習の時間を見直し, パートナシップ事業とも関連させながらキャリア教育を強かに推進していく。

(4) 温かく粘り強く寄り添い, みんなでかかわる生徒指導に努める

誰もが安心して過ごすことができる学校・学級・各種集団づくりを目指すとともに, 私たち教職員は生徒や保護者, 地域の人々の視点と気持ちを併せもち, 多面的多角的な生徒理解と傾聴と共感による生徒や保護者とのラポート形成に努め, 日々の教育活動を推進していくことが大切である。

いじめ, 不登校, 問題行動等の未然防止及び解消のために, 全職員で素早く生徒指導情報の共有を図り, 必要に応じて外部機関とも連携しながら, チームで組織的に温かく粘り強く生徒や保護者とかかわっていく。特に, 初期対応と記録, 報告・連絡・相談・指導・確認を大切にする。